

「仙台空港再生」の第一歩

平成23年3月22日現在

～名取市・岩沼市の排水状況について～

仙台空港周辺の低平地は、東北地方太平洋沖地震による津波により広範囲にわたって浸水しています。周辺は住宅地のほか、仙台空港アクセス鉄道や下水処理施設等の主要施設が浸水していることに加え、行方不明者の捜索活動の促進を図るため、早急な排水が必要となっています。

国土交通省では、排水路等の障害物の除去による自然排水の促進のほか、国土交通省が全国に配備している排水ポンプ車を集め、名取川河口から阿武隈川河口の浸水区域において、平成23年3月20日から広範囲の浸水解消を重点的、機動的に実施しています。

排水ポンプ車の稼働による湛水深の減少に伴い、自衛隊による行方不明者の捜索も行われています。



【緊急排水概要】

・排水ポンプ車

配備予定台数 20台

(3月22日9:00時点で16台稼働中)

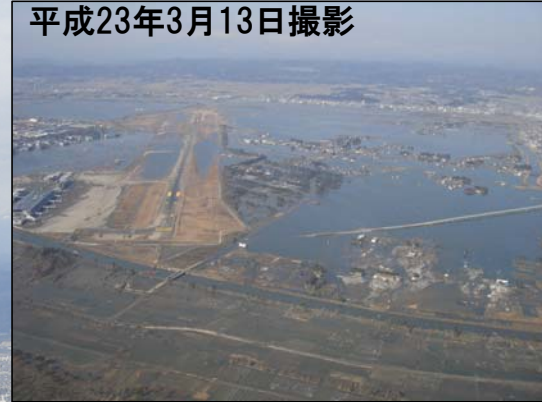
・排水開始

3月20日(一部は13日から開始)

・排水完了予定

燃料の調達状況によるが1週間程度を目途に実施

平成23年3月13日撮影



仙台空港

仙台空港アクセス線

一部排水作業中

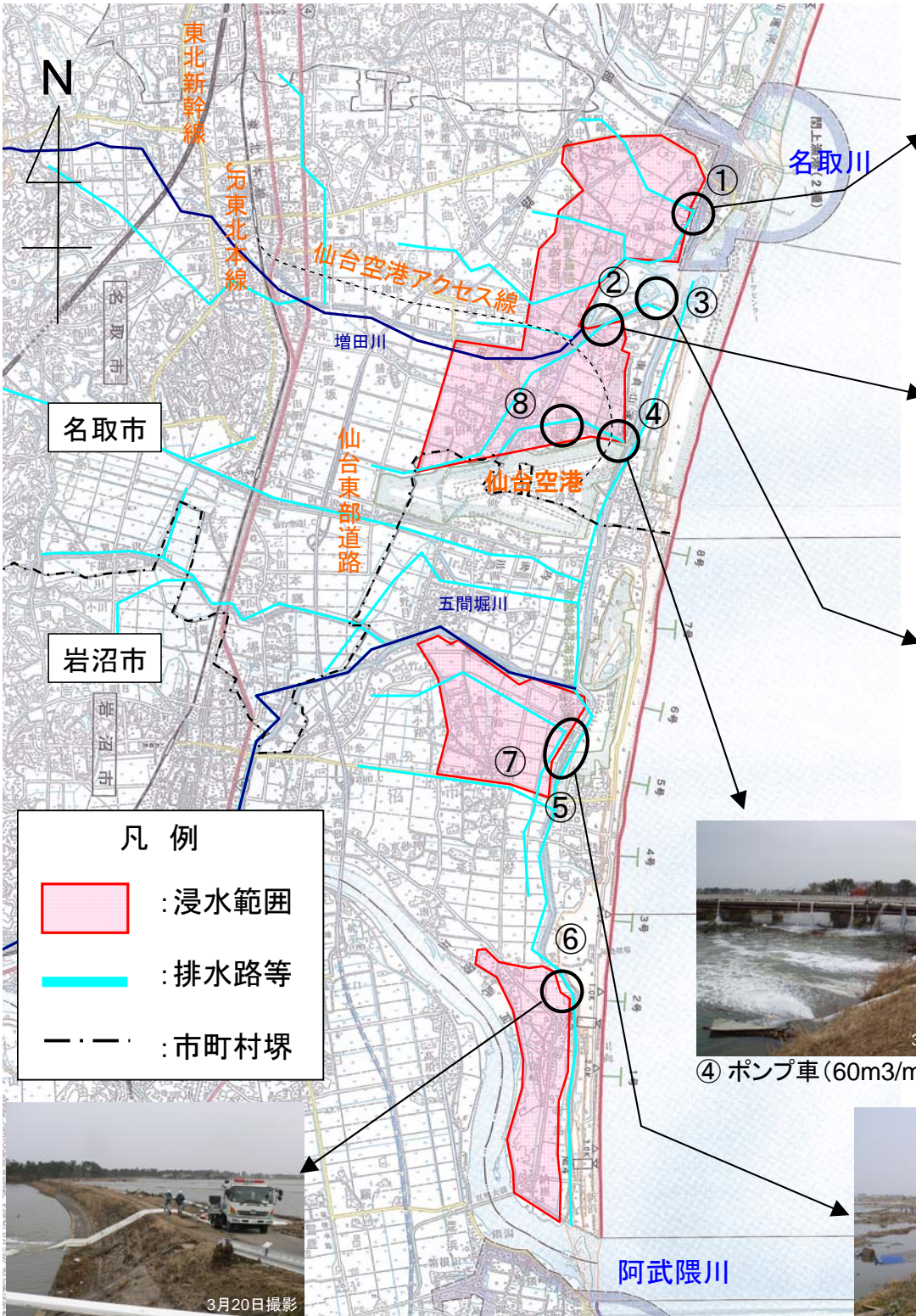
【仙台空港北部の浸水状況】

平成23年3月22日撮影

重点排水箇所の排水状況(名取市・岩沼市)

平成23年3月22日現在

【仙台東部地区位置図(名取川～阿武隈川)】



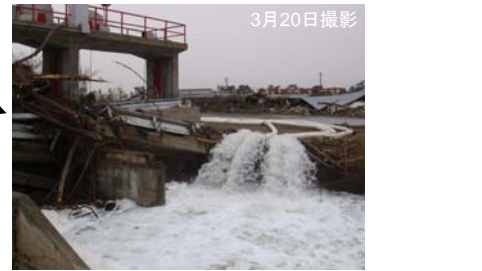
【現地状況写真】



① ポンプ車(30m³/min級)稼動状況



② ポンプ車(30m³/min級)稼動状況



③ ポンプ車(30m³/min級)稼動状況



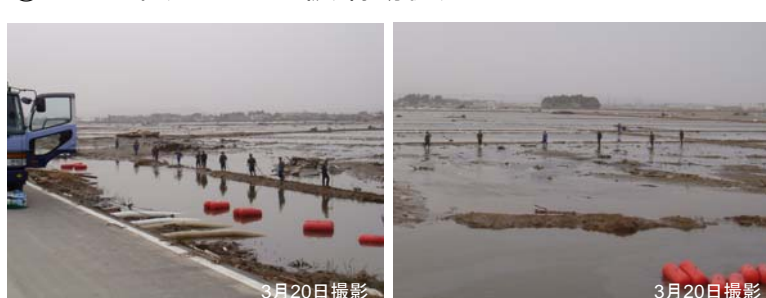
④ ポンプ車(60m³/min、40m³/min、30m³/min級)稼動状況



⑥ ポンプ車(30m³/min級)稼動状況



⑤ ポンプ車(30m³/min級)稼動状況



⑦ 排水効果[浸水水位低下に伴い自衛隊の捜索活動を開始]



⑧ 排水効果[湛水域の比較]